

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年5月3日

【事業所概要(事業所記入)】

念	4691400107
法人名	医療法人 浩愛会
事業所名	グループホーム ひいらぎ
所在地	鹿児島県垂水市終原625番地2 (電話) 0994-35-3686
自己評価作成日	平成27年2月16日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成27年3月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

基本理念「思い・願いを大切に笑顔で明るく楽しい生きがい作り」を、常に考えながら、入居者様がこれまで生活して来たこれまでの思いを大切にして、今までと変わる事が無い生活が出来る様に援助しています。隣接している、小規模多機能ホームと連携して各種行事などを行って交流している。住宅地に有る為、ご近所とのふれあいが有り、日々の挨拶や季節行事に参加呼びかけをして交流を深めている。ご近所の住民からは、自家で採れた作物の差し入れが有り、いただいた物が食卓を飾って入居者様の喜ばれる顔がみれる事が出来る。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ホームは市中心地より7～8Km南の国道220号線を少し入った海と山に囲まれた閑静な住宅地に、同じ法人が設置する小規模多機能ホームに隣接して約3年前に設置されている。小規模多機能ホームとの連携や協力体制は築かれており、敬老会、クリスマス会等の行事や食事のメニューづくり、職員研修会、防災訓練等を合同で実施している。両ホームの利用者は従来からの知り合いも多く、日頃から対話や園庭での散歩、菜園の手入れ等を一緒に楽しんでいる。法人の母体の医療機関との連携も密に図られて支援体制が充実しており、利用者及び家族の安心と信頼に繋がっている。

○ホームは開設以来、地域との交流に積極的に取り組んでおり、散歩や買い物時の地域住民との会話やボランティア及び友人知人達の来訪、近隣の人から農作物を頂く交流が日常的に円滑に行われており、利用者の楽しみとなっている。また、災害発生時の住民の避難場所として施設を提供し地域の福祉の拠点的な存在となっており、日常的に住民から福祉に関するいろいろな相談を受けており、適切に誠意をもって助言したり関係機関に繋いでいる。

○管理者及び職員は、利用者が住み慣れた地域の中で家族や友人知人と関わり合いながら、その人らしく、楽しく穏やかな生活が過ごせるように、利用者の誇りや尊厳を大切に、理念に沿ったきめ細かなケアの実践に努めている。

○管理者は何でも言い合える雰囲気づくりに配慮しており、信頼関係を築いている。日常的に職員の意見や要望、相談等を聞き取り、対応や改善については十分話し合う等、連携してサービスの向上に反映させている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念が見える所に掲げ、笑顔での対応を行って、一人一人の気持ちに添った援助をしている。	ホームの理念「思い・願いを大切に笑顔で明るく楽しい生きがづくり」に沿って利用者の尊厳を大切に、日々思いやりのあるきめ細かな支援に取り組んでいる。理念は、玄関や事務室に掲示すると共に、職員が常時携帯する名札裏にも記載していつでも確認できるようにしている。毎月開催のケア会議や朝夕の申し送り時に、振り返り等を実施して理解を深め、理念に添ったより良いケアの実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	住宅地に有る為、ご近所とのふれあいは多く、日頃の挨拶や各行事への参加声掛けを行っている。入居者様が買い物を希望された時は、近所の商店に行っている。	自治会に加入し、海浜清掃や小学校の運動会への参加や公民館で開催の地区文化祭に演劇「おれおれ詐欺」で出演するなど積極的に交流している。またホームが実施する夏祭りや敬老会、認知症ケアに対する研修会、肺炎球菌ワクチンの説明会には家族や多くの地域住民に参加して頂いている。ボランティアや県外高校の民泊型修学旅行生も積極的に受け入れ、利用者はこれらの人々との交流を楽しんでいる。日常的に近隣の人々とは散歩や買い物の際に挨拶や会話を交わし、野菜等の差し入れも頂いている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	各行事の中で、参加された地域の方へ具体的な認知症への対応について徘徊模擬訓練等を通じ学んでもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市役所、民生委員、御家族が出席され意見交換している。推進会議で上がった話題を職員へ伝え、今後サービス向上に努めている。	会議には家族や地域住民、民生委員、行政や地域包括支援センターの職員等関係者が参加して定期的開催されている。ホームや利用者の現況や外部評価の報告をはじめとして、行事や課題、地域の高齢者の状況等について活発な意見交換が行われ、得られた提案や助言が具体的にサービスの向上に活かされており、会議は有意義なものになっている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	担当者とは、推進会議等で話しているが対面する機会が少ないので今後機会を増やしたい。	市担当者には運営推進会議に出席して頂くとともに、日頃から訪問や電話で、施設の運営やケアに関する相談や意見交換を行い、また諸手続き等の助言・指導を頂くなど協力関係が築かれている。市の事業「徘徊模擬訓練」も担当者と密に連携して実施され、これらはサービス向上に反映させている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人研修やケア会議などで、身体拘束を行わない事は理解している。直接的な拘束は行っていないが、言葉の拘束が見られるので注意していきたい。	居室や玄関等の施錠は行わないケアに取り組んでおり、利用者が外出しそうな場合には職員が付き添って対話や散歩をして安定を図っている。近所の方々とも見守りや声かけをもらえる関係も築いている。毎月開催される「身体拘束廃止委員会」の内容は各事業所に持ち帰って情報の共有を図っている。言葉による拘束の排除も含めて身体拘束に関する研修や日常のケアの振り返りを実施して理解を深め、安全確保やその人らしい暮らしを支援するケアへの反映に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人研修等で学ぶ機会を持っている。身体虐待だけでなく、言葉による虐待等も無いように、スタッフ間で注意し防止に努めたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	院内研修で毎年実施されスタッフそれぞれが学んでいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時説明を行っている。またご家族からも不明な点などがあればその都度聞いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会や日頃の面会の際、話を聴いてご意見、ご希望に出来るだけ添える様に努力している。	ご家族の意見や要望等は運営推進会議のほか、来訪時や家族会での対話等を通じて把握に努めている。また、利用者の思いや意見は日常の会話や表情、所作の見守りで把握を図っている。職員は「申し送り帳」や「苦情受付票」により共有を図り、ケア会議やリスク会議、申し送り時に対応を協議してサービスの改善に努めており、経過や結果は速やかに本人やご家族に報告している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ケア会議、日常の会話等で意見交換し、運営に反映している。	管理者は、職員の意見や提案を日々の申し送りやケア時のほか、毎月のケア会議、また、内容によっては職員個々に合わせた声掛けや面接を行う等、話しやすい雰囲気づくりに努めて把握を図っている。職員と必要な話し合いも重ねて業務改善やサービスの向上につなげるように取り組んでいる。ホーム内外の研修の受講も積極的に支援しており、職員のスキルアップへの配慮が感じられる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>厳しい現状の中で、整備されていると思う。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会の内容をもとに、職員を選出して、最適な研修に参加出来る様に心掛けている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>各行事等に招待してまた参加して交流したり、研修会で得た情報等ケア会議等で伝えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	御本人様の日頃の様子を見ながら声掛けを行ったり、出来るだけ本人様の希望に添えるサービスを心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	希望、不安などをしっかり聴いて不安が少しでも解消できるように努力している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	職員からの情報を精査して必要なサービスを提供している。必要に応じて、必要なサービス利用を検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒にお茶を飲んだり、食事の準備を手伝ってもらったりして自宅だと思って頂ける様に接している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時など、入居者の情報を伝えご家族の要望を出来るだけ実現出来る様に努力している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	一人一人の入居者に対応して外出や交流を行っている。	馴染みの人や場については、入所時に本人や家族、関係機関等からの聞き取りにより把握し、「アセスメント表」に整理して共有を図っている。ご家族とも連携して馴染みの床屋や通院、墓参り、近隣のドライブ、買い物等可能な限り利用者の希望に添って支援している。また来訪された親戚や友人とはゆっくり交流できるように配慮すると共に、遠方の子ども達との電話や手紙の取り次ぎも行うなど、馴染みの人や場所との関係の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関係性を把握して、トラブルの無いように心がけている。また孤立しない様に心がけている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	挨拶や各行事のお知らせを通して、関係を保って相談や支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その方を第一に、希望、意向を反映出来る様に職員間で検討している。	職員は日頃の利用者の表情や言動、また家族からの情報を基にして、思いや意向を汲み取るように努めている。「申し送り帳」や「介護記録」で共有を図り、ご家族とも相談しながらプランに反映させ、利用者にとってよりよい支援となるよう日々取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時のサマリーやモニタリングを参考にして、職員間で把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	出来る事は出来るだけ自分で行う様本人様へ声変えを行い、また職員間でもしっかり話し合っけてケアの統一に心掛けている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア会議、本人、御家族の意向を出来るだけ反映出来る様に心がけて作成している。	モニタリングを毎月実施し、利用者本人・家族の意向や希望、医師を始めとした関係者からの情報を基に、職員全員で意見交換して、利用者本位の介護計画を作成している。計画には利用者ごとの課題や目標、日々のケアに必要な支援を明確にし、ケアの経過は「介護記録」や「日誌」に詳しく記録されている。利用者の変化する状況の把握にも努め、実態に即した介護計画の見直しや修正がタイムリーに行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や業務日誌、各記録を共有して介護計画や見直しに活かせるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	職員間で情報を共有し、必要なニーズに対応して可能な限り実践している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との交流が出来る様に行事を計画して楽しめる生活が送れるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前にかかっていた主治医と連携を図り、緊急時に対応出来る様に関連病院とも連携を図っている。	利用者の入所前の病歴や受診の状況は十分に把握されており、本人や家族が希望する医療機関を受診できるように支援している。通院は主に職員が同伴しているが、病状により家族も同行する等密に連携している。月1回往診も行われており、受診結果は利用者毎に「介護記録」や「申し送り帳」に記載され、電話や来訪時に家族に報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居者の変化を看護職員へ伝え、必要な処置を受ける様になっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	御家族や入院先の看護職員と連携しサマリー等で情報交換などを行い、退院後支障が無いよう努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	研修等で必要性を感じているが、対応などは現在も検討中。	重度化や終末期のケアについては、「入居時リスク説明書」を基に、利用開始時に利用者と家族にいろいろなパターンを想定した対応について十分に説明し同意を得ている。様々な変化に対してはご家族の面会時に話し合いを行い、また、医師からは「病状説明書」の作成や説明がなされるなど密に連携している。ホームとして可能な限り支援できる体制の構築と、職員の不安の除去やスキルアップのための勉強会を検討している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年一回救命訓練（心肺蘇生法、AED使用法）を実施し、緊急時に備えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回避難訓練を行い、近隣の方にも出来るだけ参加を促している。	消防署との連携により年2回、夜間を含む火災を想定した避難・消火・通報訓練を地域住民も参加して、隣接する小規模多機能ホームと一緒に実施している。また、消防署職員による消火器やAEDの取り扱い方法、心肺停止時の処置の研修も実施されている。スプリンクラーや自動通報装置等の設置をはじめ、災害時に備えた懐中電灯や卓上コンロ・ラジオの整備と食料や飲料水等の備蓄も十分で、消費期限等はリストを作成して管理している。また、ホームは災害時における地域住民の避難場所に指定されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩なので、敬意を持った接し方に心掛けて、傷つけないように人格の尊重を促している。	利用者の誇りやプライバシーを損ねる事のないように、丁寧な声かけや対応を日常的に心掛けている。また、ケア会議や申し送り時に繰り返しケアの方法について研修や振り返りを行って認識を深めている。職員は利用者個々の人格や感性を大切に支援に努めており、入浴や排泄時の配慮や居室の保護、個人台帳等の管理も適切に行われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御本人の希望や思いを実現出来る様に、本人の意見を傾聴しました、御家族の情報を参考にして自己決定出来る様に努力している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	パーソンセンタードケアを基本にしてその方のペースで生活出来る様に努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人のこれまで築いてきた価値観などを壊す事ないように、本人様に決定して頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>本人様の嗜好に添っておいしく、楽しく食事を提供できるように努力している。</p>	<p>利用者の嗜好や食事形態等を十分に把握して、利用者の希望も取り入れながら、差し入れの野菜や施設の菜園の野菜を活用して、栄養バランスに配慮した食事づくりに努めている。季節感のある食材の利用や、時節に応じた行事食、ドライブによる外食、民泊修学旅行生や家族との会食、園庭での焼き芋大会、バイキング式の食事会等、食事を楽しめるように工夫している。下ごしらえや台拭き、下膳等は利用者も一緒に楽しみながら行っている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>入居者様の状態、また主治医の指示を反映し、水分を摂れる様にしている。</p>	/	
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後声掛けを行い、出来る範囲は行って頂き、出来ない所を手伝っている。</p>	/	
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>本人様の状態を見ながら、自己にて行えるように、支援している。</p>	<p>利用者個々の習慣や身体機能に応じた排泄支援になるように排泄チェック表も活用して、不安や羞恥心にも十分配慮しながら可能な限りトイレで排泄できるように支援している。利用者の身体的変動に対しては、適切なケアになるように話し合いや工夫を繰り返し、ケアプランにも組み込んで改善に努めており、現在はポータブルトイレの使用者はいない。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自排便がスムーズに出来る様に体操を通して、便秘防止に努めていただき、十分な水分摂取に心掛けている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	無理な入浴誘導等を行わず、本人様の意思決定を十分考慮している。	入浴は基本的には週3回であるが、希望があればいつでも入浴可能であり、失禁等には随時シャワー浴や清拭を行うなど衛生面にも留意しながら、可能な限り好みの時間帯での入浴を楽しんで頂いている。入浴を拒否される場合には無理強いしないで、言葉かけや介助者、時間帯の変更を行うなど、気持ち良く入浴して頂けるように工夫している。時には浴槽に柑橘を入れるなど入浴を楽しめるような工夫もしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活パターンに応じてリラックスし休息出来る様にしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の情報を把握して、服薬後の状態把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方の出来る事に合わせて、手伝いをもらったり、昔から得意だったことなどを十分生かせるようにレクリエーション等提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	隣接の小規模多機能と共同で外出、外食などを行っている。	利用者の健康状態や天候に配慮しながら、本人の希望に沿って、また、家族とも話し合いながら散歩やドライブ・墓参り・買い物・一時帰宅などに出かけている。また、行事計画にも組み込んで、花見や紅葉狩り、地域の行事、関連施設との交流など、可能な限り楽しく外出できるように工夫しており、利用者の身体能力に沿って、リフト車や車いす等も適切に活用している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理できる方は自己管理して頂き、出来ない方はご家族と協議して買い物の希望などを聴いて一緒に買い物に行く。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話したいと希望があれば、その都度行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感が伝わる様に飾り物、工作等使用し工夫している。	広い敷地には花壇や菜園も配置され、利用者が季節の花や野菜の栽培や収穫を楽しんでいる。広いリビングは天井が高く衛生的で明るい雰囲気に満たされており、続きの畳敷きの部屋にひな壇が飾られるなど一体的に利用されており、利用者は好みの場所で自由に寛げる工夫がなされている。室温や換気にも十分な配慮がなされ、また不快に感じる音や臭い等もなく清潔に整頓されている。随所に生花や保育園児が描いた似顔絵、利用者職員合作の絵画、折り紙等の作品が飾られ、和やかで居心地良く過ごせる雰囲気である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テーブル以外にソファ等設置する事により一人でリラックス出来る様に努力している。</p>	/	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が使い易いように、配置し変更があれば手伝っている。</p>	<p>余裕のある居室にはベッド、エアコン、整理タンスが備えてある。利用者や家族の希望により寝具や洋服箆筒、写真、使い慣れた小物、置物を自由に持ち込んで好みに応じた配置をして頂くなど、家庭同様に落ち着いて過ごせる居室づくりを支援している</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>その方の状態に応じて、安全に過ごせるように、職員間で連携し改善している。</p>	/	

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない